

機関番号：33908

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2009～2010

課題番号：21830137

研究課題名（和文） 中核技術を保有しない企業の戦略に関する研究

研究課題名（英文） Research on strategy of firm without the fundamental technology

研究代表者

山崎 喜代宏 (YAMAZAKI KIYOHRO)

中京大学・経営学部・講師

研究者番号：40551750

研究成果の概要（和文）：

本研究において、エレクトロニクス産業に属する複数の企業を取り上げ、事例分析を中心に行った。中核技術を保有しない企業の優位性の源泉を探求するなかで、競争優位を構築している企業は、既存製品とは異なる特性を持つ製品を開発することで、新たな市場を獲得していることが分かった。そこで、特に製品コンセプトに着目をして、中核技術を保有しない企業は、どのようなプロセスのもとで、製品コンセプトの転換を行っているのかを考察した。

研究成果の概要（英文）：

This research took up several firms that belonged to the electronic industry, and analyzed the case. This research shows that the firm without the fundamental technology that had high competing domination was developing a new market with products developing the product that had a different feature. Then, it especially paid attention to the product concept, and the firm without the fundamental technology considered whether to have converted the product concept under what process.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	900,000	270,000	1,170,000
2010 年度	960,000	288,000	1,248,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,860,000	558,000	2,418,000

研究分野：経営学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：経営戦略、製品開発

1. 研究開始当初の背景

大学院生の時に研究してきた課題を継続して研究している。修士論文では、デジタルカメラ産業の事例分析を行った。撮像素子技術と光学系技術に焦点を当て、参入企業の競争力とその源泉を分析した。そのなかから、上記の2つの技術を保有しないカシオ計算

機に着目をした。産業導入期においては、技術的優位性が競争優位につながりやすいなか、カシオ計算機はそれらを保有せずとも、高い競争力を持つことができていた。

博士論文では、中核技術を保有しなくても競争優位を構築している企業を取り上げ、その競争のやり方、特に製品開発に焦点を当て

て研究を継続してきた。複数の事例分析を行い、そのなかで中核技術を保有しない企業の競争優位の源泉について論理を構築してきた。

ただし、事例分析の質・量とも不十分であり、この研究課題について継続して研究を行う必要がある。

2. 研究の目的

企業が保有する経営資源が競争優位の源泉となり、それを活用する結果として、競争優位が構築されるという議論が多くの研究者によって行われてきた (Wernerfelt, 1984; Barney, 1986, 1991)。このように、企業の持つ経営資源に着目して、その企業の強さを説明するアプローチは、Resource-Based View of the Firm (RBV) と呼ばれるものである。その一方で、中核的な経営資源を保有することが競争優位の獲得の妨げになっていることも報告されている (Levitt and March, 1988; Leonard-Barton, 1992, 1995)。しかし、特に近年においては、中核的な経営資源を保有せずとも競争優位を構築している企業の活躍が多く見られるようになってきた。

これまでの経営学の分野では、中核的な経営資源を保有し、それを活用して競争優位性を構築する<持つ強さ>や、中核的な経営資源の保有が、優位性の構築を妨げてしまう<持つ弱さ>については活発に研究がなされてきた。しかし、中核的な経営資源を保有しなくても競争力を高められる<持たない強さ>については、研究蓄積が進んでいるとは言いがたい。そこで、本研究では、中核的な経営資源を保有しない企業が、産業内で競争優位を構築するメカニズム・論理について研究を行う。

加えて、中核技術を保有しない企業ごとの相違に着目することによって、同じ中核技術を保有しない企業の論理であっても、競争優位を構築するまでのメカニズムには違いがあることを示し、より豊穡な論理としたい。

また、中核的な経営資源を保有する企業の多くは、日本企業である。つまり、本研究では、中核技術を保有しない企業の強さの源泉を探索するが、それと同時に、中核技術を保有する企業が、保有しない企業に対して、どのような戦略をとるべきなのか、その処方箋も追求したいと考えている。

3. 研究の方法

研究方法として、研究対象とする産業を探索し、そのなかで、中核技術を保有しない企業を選定する。その際には、技術的情報を使

うなどして、可能な限り、産業の参入企業が共通してその技術は重要で、基本的な機能を担っているという技術の中核技術として設定したい。

中核技術の設定ができれば、各種統計や出版物を用いて、産業の概要を把握し、その後、中核技術を保有しない企業へのインタビューを行う。分析を行う過程で、これまで構築してきた中核技術を保有しない企業の論理と突き合わせて、論理の追加や修正を行うこととしたい。

本研究では、事例研究を行い、そのなかから構築できる仮説を主張していくという仮説構築型の研究である。

4. 研究成果

本研究期間において、エレクトロニクス産業に属する複数の企業を取り上げ、事例分析を中心に行った。中核技術を保有しない企業の優位性の源泉を探求するなかで、競争優位を構築している企業は、既存製品とは異なる特性を持つ製品を開発することで、新たな市場を獲得していることが分かった。そこで、特に製品コンセプトに着目をして、中核技術を保有しない企業は、どのようなプロセスのもとで、製品コンセプトの転換を行っているのかを考察した。

本研究では、製品コンセプトの転換が、製品たらしめる主要な機能の割り切りによって生じていることに注目した。先行研究では、製品の導入期から成長期にかけては、製品性能が顧客の要求水準に満たないことが多く、その場合の企業の開発努力は、製品性能の向上に向けられることが分かっている (例えば、Christensen, 1997)。ある特定の製品機能を向上させることが産業における競争要因となるのである。

しかし本研究で取り上げた企業は、競争要因となる製品機能の割り切りを行うことで、製品差別化を行っていた。その背後にある論理とは、過去の製品開発のなかで形成されてきた思考枠組みを参照して、既存の製品のあり方を思索し直す結果、企業に特異な製品差別化のやり方を当該製品に当てはめることによって、製品特性を作り変えているというものである。

本研究の理論的意義や貢献は、産業の導入期や成長期初期において、製品コンセプトを転換させるメカニズムを明らかにした点である。先行研究では、開発努力は競争要因である製品機能の開発に集中すると主張されてきたが、本研究では、中核技術を保有しない企業のなかには、その製品機能を割り切っ

て既存とは異なる要因を際立たせることで差別化を行おうとする企業のロジックがあることを示した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

- ① 宮本琢也・前川佳一・山崎喜代宏、ビジネスケース 三洋電機「アクア」の製品開発、久留米大学商学研究、査読無、第16巻、2011、117-129
- ② 山崎喜代宏、技術保有と競争力に関する理論的検討、中京経営研究、査読無、第20巻、2011、157-169
- ③ 山崎喜代宏、Advantages of the Firm without Center Technology: A Case Study of Casio Computer、中京経営研究、査読無、第19巻、2010、69-80
- ④ Kiyohiro Yamazaki、Why Can the Firm without Center Technology Gain the Competitive Advantage? :A Case Study of Casio Computer Co., Ltd in the Digital Camera Industry、The Proceedings of International Conference on Management of Technology、査読有、2010、309-310
- ⑤ Kiyohiro Yamazaki、Competitive Advantages of the Firm without a Center Technology: Case Study of Sony、The Proceedings of Management International Conference、査読有、CD-ROM、2010
- ⑥ Kiyohiro Yamazaki、Can Firms without Center Technology Gain Competitive Advantage? : Case Study of Sony in the Flat TV Industry、The Proceedings of European Conference on Entrepreneurship and Innovation、査読有、CD-ROM、2009、692-699
- ⑦ Kiyohiro Yamazaki、A Logic of the Firm without a Center Technology :A Case Study of Casio Computer Co.,Ltd in the Digital Camera Industry、The Proceedings of European Conference on Entrepreneurship and Innovation、査読有、CD-ROM、2009、603-610
- ⑧ 山崎喜代宏、先行産業における製品開発が新産業での製品開発に及ぼす影響の理論的考察、中京経営研究、査読無、第19巻、2009、31-42

[学会発表] (計9件)

- ① 山崎喜代宏、日本学術振興会特別研究員を経験して、大学院生のための研究力・キャリア強化セミナー、2011年2月21日、神戸大学
- ② Kiyohiro Yamazaki、Competitive Advantages of the Firm without a Center Technology: Case Study of Sony、Management International Conference、2010年11月25日、Hacettepe University
- ③ 山崎喜代宏、製品コンセプトの変動に関する一考察 カシオ計算機の事例分析、経営情報学会、2010年11月6日、中京大学
- ④ Kiyohiro Yamazaki、Can Firms without Center Technology Gain Competitive Advantage? : Case Study of Sony in the Flat TV Industry、European Conference on Entrepreneurship and Innovation、2010年9月16日、National and Kapodistrian University of Athens
- ⑤ 山崎喜代宏、製品コンセプトの変動パターン -“変化の仕方”は変化しない-、日本経営学会、2010年9月4日、石巻専修大学
- ⑥ Kiyohiro Yamazaki、Why Can the Firm without Center Technology Gain the Competitive Advantage? :A Case Study of Casio Computer Co., Ltd in the Digital Camera Industry、International Conference on Management of Technology、2010年3月12日、Cairo Marriott Hotel
- ⑦ Kiyohiro Yamazaki、A Logic of the Firm without a Center Technology :A Case Study of Casio Computer Co.,Ltd in the Digital Camera Industry、European Conference on Entrepreneurship and Innovation、2009年9月11日、University of Antwerp
- ⑧ 山崎喜代宏、中核技術を保有しない企業の製品開発に関する考察、日本経営学会、2009年9月2日、九州産業大学
- ⑨ 山崎喜代宏、中核技術を保有しない企業の戦略に関する研究、組織学会、2009年6月7日、東北大学

[図書] (計2件)

- ① 山崎喜代宏、日本経営学会編(「製品コンセプトの変動パターン -“変化の仕方”は変化しない-」、千倉書房、2011、掲載確定
- ② 山崎喜代宏、日本経営学会編『社会と企業：いま企業に何が問われているのか』

(「中核技術を保有しない企業の製品開発に関する考察」)、千倉書房、2010、164-165

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山崎 喜代宏 (YAMAZAKI KIYOHIRO)

中京大学・経営学部・講師

研究者番号：40551750